

## 「平成28年 とやま水土里フォーラム」の開催

富山県と富山県土地改良事業団体連合会との主催による「平成28年とやま水土里フォーラム」が、平成28年9月21日（水）アイザック小杉文化ホールを主会場に、土地改良関係者、県・市町村等 約550人が参加して開催されました。

主催者を代表して、石井隆一知事、河合常則県土連会長から開会の挨拶があり、続いて来賓の小林厚司農林水産省北陸農政局長、大野久芳富山県議会議長、夏野元志射水市長の祝辞がありました。



次に県知事表彰があり、土地改良施設の維持管理や、多面的機能の発揮のための活動に取組み、他の模範となる団体および個人に対して「とやま水土里賞」が石井知事から授与されました。



受賞されたのは、次の2団体と4個人の方々です。おめでとうございます。

- ・新田用水維持管理委員会（富山市：旧八尾町）
- ・玄手川水環境維持管理協議会（高岡市）
- ・長原 瞳 氏（入善町）
- ・吉田 幸一 氏（富山市）
- ・百海 外男 氏（高岡市：旧福岡町）
- ・柴田 明悟 氏（小矢部市）

つづいて、基調講演に入り、木地智美氏（気象予報士、防災士）から「とやまの気象と災害への備え」と題し講演されました。近年懸念される異常気象の中、日本および富

山県の気象特性や気象災害のほか、それらを踏まえ、防災士の視点から災害対策の必要性や重要性についてお話しがありました。また、引き続き富山県の防災対策の実施状況などについて、県農村整備課志村課長とのトークセッションが行われました。



次にとやま水土里賞の団体受賞者である、新田用水維持管理委員会と玄手川水環境維持管理協議会から事例発表が行われ、午前の部を終了しました。

一方、会場1階ホワイエでは高岡管内の農産加工グループ等による展示・販売が、屋外では農業用コンクリート製品等の展示があり、大勢の来場者で賑わいました。



午後の現地研修では、西部排水機場、あしつきの郷（農事組合法人）、イクリの里展示室、射水市新湊博物館を大型バス8台に分乗し研修を行い、全日程を終了しました。

